

特集

1. 重量物の運搬
2. 水稻の管理
3. ばくしゅう 麦 秋
4. 大豆栽培
5. 農作業の予定

ひとりごと

6 月 15 日より、FIFA ワールドカップが始まります。サムライブルー(日本代表)の初戦は 6 月 19 日のコロンビア戦からです。直前に指揮官が替わったり、また前哨戦が完敗と良い材料は見当たりませんが、是非とも前回大会の雪辱を期待している。来年はラグビーのワールドカップ、翌 20 年には東京オリンピックですね。前回大会は小学生で、昼間は視聴覚教室の白黒テレビで見た記憶がある。ガンバレ、日本! ㊦

過積載の防止

昨年、軽トラックによる過積載で摘発されるという事案が県内でありました。従前であれば軽トラによる 1 トン近くの農産物や資材を積載していても、黙認されていた。

周知の事実ですが、軽トラの積載量は 350 k g 迄です。米の袋(30kg)で約 11 袋、肥料 20 kg だと 17 袋が限度だと言うこと。今年度より JA より借用するコンテナについても、1t 車以上の車両でないと借り受けが不可能です。今後の重量物の運搬方法は、適切な車両をレンタルして対応する必要がある、自家用かレンタルかは課題です。

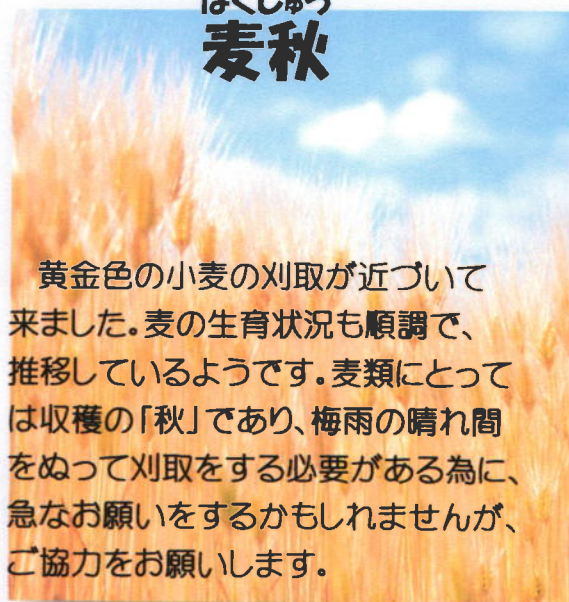


過積載の軽トラ

水稻の管理

みずかがみの作付けに始まりコシヒカリで 5 月 12 日に田植えは無事に終了しました。天候に恵まれ、ほぼ予定通りに遂行することが出来た事。ご協力をお礼申し上げます。今後は適切な水管理を行い、活着後の分けつを促進する。中干し迄、後しばらく。

ばくしゅう 麦 秋



黄金色の小麦の刈取が近づいて来ました。麦の生育状況も順調で、推移しているようです。麦類にとっては収穫の「秋」であり、梅雨の晴れ間をぬって刈取をする必要がある為に、急なお願いをするかもしれませんが、ご協力をお願いします。

農作業の予定

- ・6 月上旬～ 麦の刈取
- ・6 月中頃～ 溝切り・中干し
- ・6 月下旬～ 大豆栽培に伴う資材散布他
- ・7 月上旬～ 大豆播

大豆栽培

小麦の収穫後には、直ぐに大豆です。今年は少し資材設計を変え元肥を控えて中耕培土時には、追肥を同時散布する予定です。

